ＦＲＯＮＴ ＤＩＳＫ ＢＲＡＫＥ ＫＩＴ 取扱説明書

商品番号：０６－０８－１５７３
適応車種及びフレーム番号
Ｍｏｎｋｅｙ／Ｇｏｒｉｌｌａ：Ｚ５０Ｊ－１３０００１７～
：ＡＢ２７－１０００００１～
Ｍｏｎｋｅｙ（ＦＩ）：ＡＢ２７－１９００００１～

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。パワーアップされたエンジンには強力なストッピングパワーが必要となります。従ってノーマルブレーキでは容量不足となり、より強力なディスクブレーキが必要とされます。しかも８インチホイール専用キットの為、ノーマルにより近いフォルムに仕上げることが出来、ホイールスペーサーを使用する事でノーマルホイールにも対応出来るようにしました。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆正しく安全にご使用して頂くために必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎補修部品に付きましては商品番号及びリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
◎当キット付属のフロントブレーキマスターシリンダーＡＳＳＹ.はオイル確認窓が無い仕様の為、ブレーキフルードの量はオイルカップ部の上限線で確認して下さい。

⚠注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

○作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
○規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
○製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
○走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
○ブレーキフルードは、なるべく皮膚に触れないようにし、作業後は十分手洗いを行って下さい。（手荒れの原因となります。）
○ブレーキフルードは、塗装面・樹脂部品・ゴム製品類等に付着すると劣化及び損傷させるので作業は十分注意して行って下さい。付着した場合は速やかに水洗いを行って下さい。（部品の損傷・劣化の原因となります。）

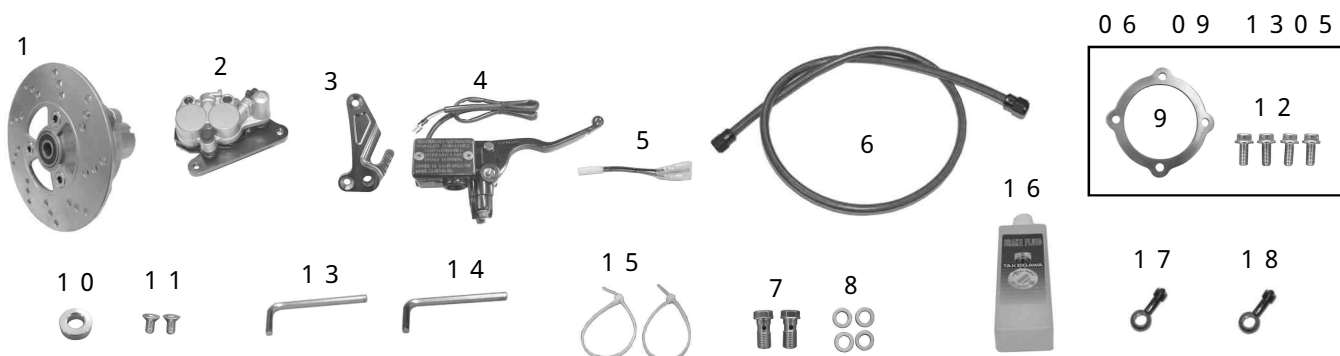
⚠警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

○ブレーキ液は指定のブレーキ液を使用。銘柄の異なるブレーキ液を混用しないで下さい。（トラブルの原因及び化学変化の恐れがあります。）
○走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
○製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）
○作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
○ブレーキディスクローター及びブレーキパットに油脂類を付着させないで下さい。付着した場合は、ブレーキパットは交換しブレーキディスクローターは脱脂して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
○ブレーキの取り付け作業については、熟練したメカニックに依頼し専用の設備・工具のある工場等で行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）
○点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
○点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

★ここに示した注意事項は、製品を正しくお使い頂き、貴方や他の人々への危険や損害を防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、示しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用 は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

◎当製品を使用してフロントをディスクブレーキに変更するには、下記の弊社製品が必要です。
▷取り付けネジサイズ１０mmのミラー（各１個入り）
オーバルスライドタイプミラー （０６－０１－１１０）
ＮＣ３１タイプミラー （０６－０１－１１１）
角スライドタイプミラー （０６－０１－１１２）
ＭＩＮＩミラー（右専用） （０６－０１－１１３）
◎フロントブレーキを油圧ディスクにした場合，フロントマスターシリンダーを取り付ける為、ＳＴＤスロットルハウジング（ブレーキレバー一体式）を取り外す必要がありますので、弊社製ハイスロットルセット若しくはホンダ純正部品が必要です。
▷弊社製品
ハイスロットルセット（ケーブル長８１０mm）（０９－０２－０２２１）
ハイスロットルセット（ケーブル長７００mm）（０９－０２－０２１）
※弊社製キャブレターキット用（ＫＥＩＨＩＮ　ＰＣ１８キャブレター以外）
▷ホンダ純正部品
スロットルハウジング（1個） （５３１６８－１６６－０００）
スロットルハウジング（1個） （５３１６７－ＧＥ４－０００）
パンスクリュー　５×２２（2個）（９３５００－０５０２２－０Ｇ）
※ＳＴＤキャブレター及び弊社製ＫＥＩＨＩＮ　ＰＣ１８キャブレター用
◎フレームＮＯ．Ｚ５０Ｊ－１３０００１７～１５１０４００の車両に当製品を取り付ける場合、別途下記部品が必要です。
▷遠心クラッチ車
コンビネーションスイッチＡＳＳＹ （０２－０１－０１５）
▷マニュアルクラッチ車
クラッチレバー＆コンビネーションスイッチＡＳＳＹ （０２－０１－０１６）

～商　品　内　容～

番号	部　品　名	数量	リペア品番	入数
１	フロントホイールハブＡＳＳＹ．	1	０６－０８－１５６２	1
２	フロントキャリパーＡＳＳＹ．	1	０６－０８－１１５	1
３	キャリパーブラケット	1	４５２３１－１６５－Ｔ０２	1
４	フロントブレーキマスターシリンダーＡＳＳＹ．	1	０６－０８－１１６８	1
５	サブコード	1	３７６００－ＫＣＺ－Ｔ００	1
６	ブレーキホース　７７５mm	1	０６－０８０－０００７	1
７	バンジョーボルト　１０×1.２５	2	００－０７－０００７	1
８	シーリングワッシャ　１０mm	4	００－０７－００１０	１０
９	ホイールスペーサー　3mm	1	４４６００－１８１－Ｔ１０	1
１０	カラー	1	４４３１０－１８１－Ｔ００	1
１１	フラットヘッドソケットスクリュー　Ｍ８Ｘ１６	2	００－００－０２３９	4
１２	フランジキャップスクリュー　Ｍ８Ｘ２０	4	００－００－０２３８	4
１３	Ｌレンチ　5mm	1	――――――	
１４	Ｌレンチ　6mm	1	――――――	
１５	タイラップ　２００mm	2	００－００－０１８２	１０
１６	ブレーキフルード（ＤＯＴ－４）	1	０６－０８－００１９	1
１７	バンジョー（ストレート）	1	００－０７－０００６	1
１８	バンジョー（２５°）	1	００－０７－００３７	1

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

～取　り　付　け　要　領～

◇フロントアップスタンド及びメンテナンススタンド等でフロントタイヤを浮かせます。

⚠警告：水平な場所で車両を安定させる事。

◇フロントブレーキワイヤー、スピードーメーターケーブルを取り外します。

◇フロントアクスルナットを外し、アクスルシャフトを取り外します。

◇ＳＴＤのフロントホイールハブからフロントホイールを取り外します。

◇フロントホイルのエアバルブ側をキャリパーと反対側になる様フロントホイールハブＡＳＳＹ.に仮締めします。

☆ノーマルホイール使用時は、フロントホイールハブＡＳＳＹ.とホイールの間にホイールスペーサーを挟みキット内のフランジキャップスクリュー８Ｘ２０で仮締めします。

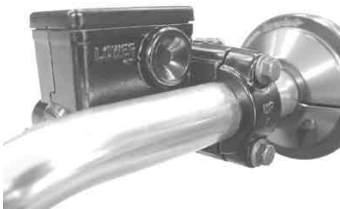
☆弊社製アルミホイールの使用時は、ホイルスペーサーは使用せずアルミホイールキット内のフランジキャップスクリュー８Ｘ１８を使用し仮締めします。

☆方向性のあるタイヤを使用時は回転方向を確認して下さい。

◇ハンドルからフロントブレーキレバーＡＳＳＹ.を取り外します。

ホイール

◇フロントマスターシリンダーＡＳＹ.をハンドルにフランジボルトを用いて取り付け締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０～１４Ｎ・ｍ
（１.０～１.４ｋｇｆ・ｍ）

◇キャリパーをディスクローターに取り付けます。

◇キャリパーをフラットヘッドキャップスクリュー（８×１６）でキャリパーブラケットに取付け、締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：２５Ｎ・ｍ
（２.５ｋｇｆ・ｍ）

※ボルトのねじ部分にネジロック剤を塗布して下さい。

◇フロントフォークの凸にキャリパーブラケットの凹を合わせフロントホイルハブＡＳＳＹ.スピードメーターギアＢＯＸを取り付けアクスルナットを規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：４０～５０Ｎ・ｍ
（４.０～５.０ｋｇｆ・ｍ）

◇ホイール取り付けボルト４本を規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：２５Ｎ・ｍ
（２.５ｋｇｆ・ｍ）

◇バンジョーボルトにシーリングワッシャ、バンジョー（ストレート）、シーリングワッシャの順で通し、マスターシリンダーに取り付けて仮締めします。

◇フロントキャリパー側はバンジョー（２５°）をマスターシリンダーと同様の方法で取り付けます。

◇ブレーキホースを各バンジョーに取り付けます。
バンジョーの取り付け角度、ブレーキホースの取り回しが決まれば、バンジョーボルト、ブレーキホースのフィッティングを指定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
フィッティング
６Ｎ・ｍ（０.６ｋｇｆ・ｍ）

※ブレーキホースの取り回しは、ハンドル操作時やフロントフォーク作動時に無理のかからない状態になるように注意して行って下さい。

◇ブレーキホースが他の部分と干渉しないようにタイラップで固定し、余った部分はニッパ等で切り取ります。

※バウンド、リバウンド時にホースが突っ張らないように固定して下さい。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
１５Ｎ・ｍ
（１.５ｋｇｆ・ｍ）

◇ストップスイッチサブハーネス、ウインカースイッチ（コンビネーションスイッチ）の配線を接続します。

※Ｍｏｎｋｅｙ（ＦＩ）の場合ストップスイッチサブハーネスとサブコードを接続し、配線を接続します。

◇スピードメーターケーブルを接続します。

◇各部をもう一度規定トルクで増し締めします。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

◇ブレーキのエア抜きを行います。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp

ブレーキのエア抜き要領

⚠注意

○ブレーキ液補給時にゴミや水を混入させない事。
○銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
○抜き取ったブレーキ液は再使用しない事。
○シーリングワッシャは再使用しない事。
○ブレーキ液は塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
○ブレーキホースを外すなど油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
○規定トルクは必ず守る事。
○ブレーキ液は必ず指定のブレーキ液を使用する事。

⚠警告

○ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し､ディスクローターは脱脂する事。
○損傷部品が見つかればその部品は必ず新品と交換する事。

○マスターシリンダーＡＳＳＹ.の２本のフラットパンスクリューを外しマスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを外します。

○キャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にします。

○マスターシリンダーのオイルカップ部にブレーキ液を上限線まで補給します。

⚠注意：ゴミや水を混入させない事。
⚠注意：銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
ブレーキオイル　ＤＯＴ４.

○ブリーダーバルブを１／２回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキ液が充分出てくるまでこの操作を繰り返します。
☆オイルカップのブレーキ液量に注意し新しいブレーキ液を補充しながら作業を行って下さい。

○ブレーキレバーを握った状態にしたままにしてキャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。
○ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

①ブレーキレバーを握ったまま、キャリパーのブリーダーバルブを１／２回転緩めた後、再び締め付けます。
②ブレーキレバーをゆっくり戻し､完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

○ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで①、②の操作を繰り返します。
☆時々、ブレーキ液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

○エアの混入がなければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝６Ｎ・ｍ
（０.６ｋｇｆ・ｍ）

○オイルカップの上限線までブレーキ液を補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリューを用いて取り付けます。

⚠注意：ゴミや水を混入させない事。
⚠注意：銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
ブレーキオイル　ＤＯＴ４.

マスターシリンダーのご使用について

レバー交換等で一度マスターシリンダーよりレバーを外した際は、
レバー取り付け後にピストンとレバーの遊びが変わる場合があります。
その場合、レバーの斜線部分をヤスリ等で削って調整して下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS

Jan./21/ '13